

平成29年度 社団法人  
岐阜県臨床検査技師会 精度管理報告会

# 精度管理総括

---

佐藤 恵彦（関中央病院）



精度管理調査案内 5月20日

【試料変更】

- 臨床化学 → 日臨技試料
- 免疫血清 → CA19-9 CA125 (H28年)

【参加料金の改定】

- 臨床化学 2000円 ⇒ 3000円
- 免疫血清 2000円 ⇒ 3000円

参加申し込み 6月1日～15日



■ 6月15日締切 ⇒ 参加施設 64 (昨年 78)

■ 昨年度参加施設に参加依頼 ⇒ 79施設

■ 原因 = 締切日を忘れていた。

■ 対策 = ①広報誌案内 ②色紙案内書

試料発送 8月27日 岐阜市民病院



- 発送方法 ⇒ ゆうパック  
(検体の送付は4重包装、ジュラルミンケース必要)

◎ゆうパックの検体送付について厚生労働省(Q&A)

Q：病院から送付される血清等の臨床検体はすべて今回の対象となるか？

A：すべてが対象ではない。対象となる送付検体は、感染症発症動向調査事業等に関係して保健所や地方衛生検査所に送付される検体です。(郵便局確認済)

# 各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

回答締め切り 9月11日

一次報告書 10月12日 C、D評価 41施設

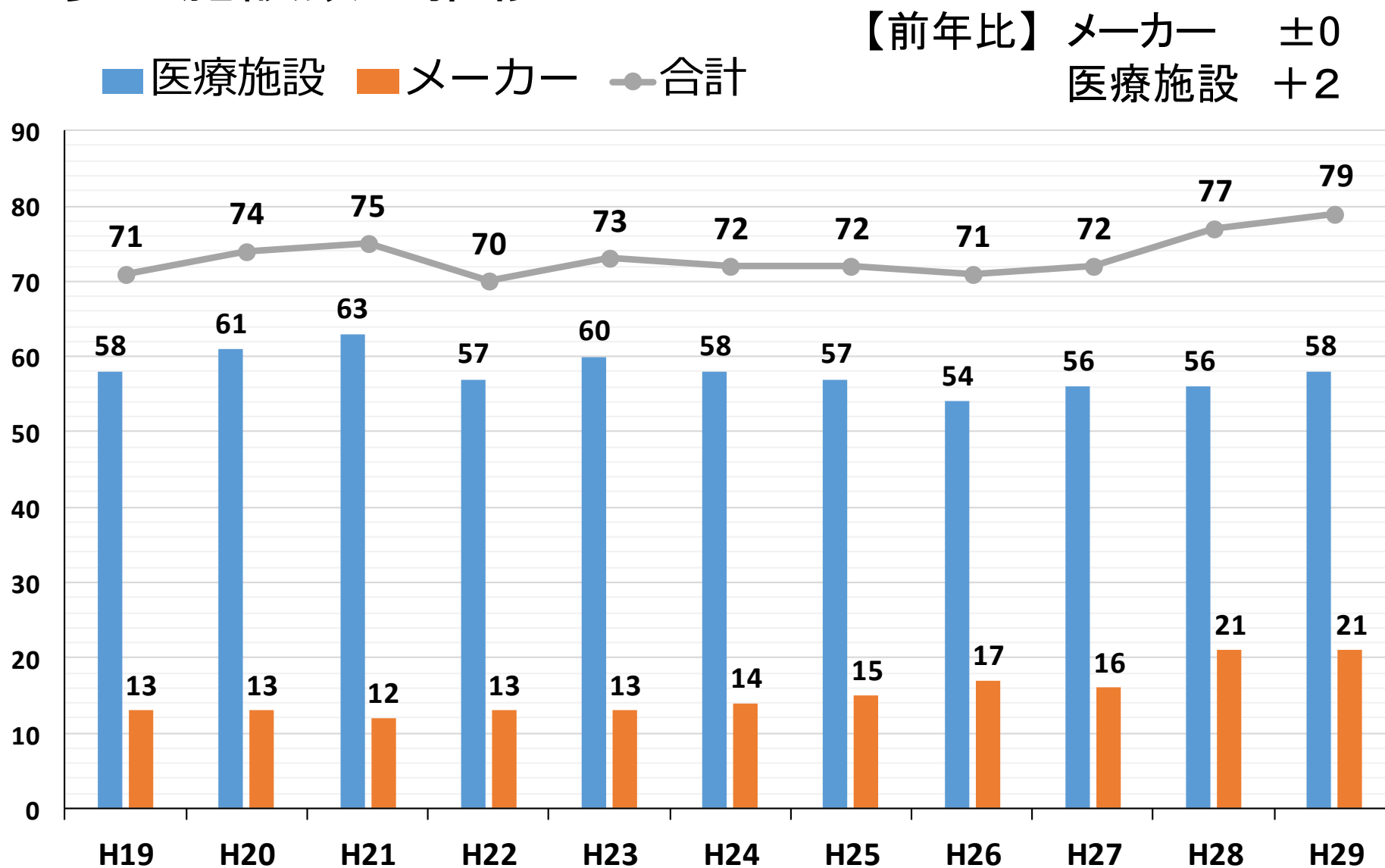
生化学 免疫血清 一般 フォトサーベイ

二次サーベイ試料発送 10月中旬

参加希望施設 是正報告書提出

# 各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

## ■ 参加施設数の推移



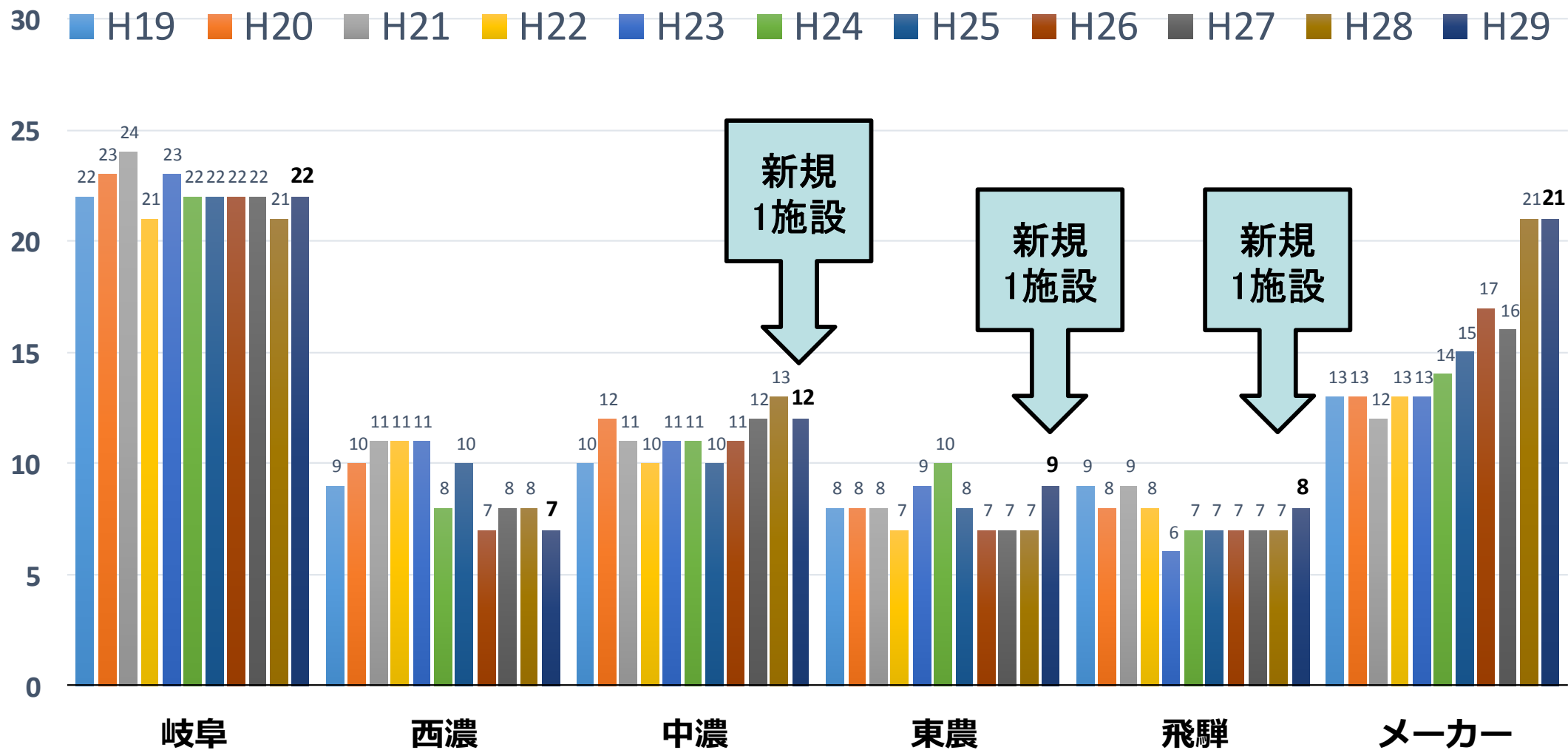
## ■ H29年度

新規参加 医療施設 = 3施設

- 東濃地区 1施設
- 中濃地区 1施設
- 飛騨地区 1施設

# 各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

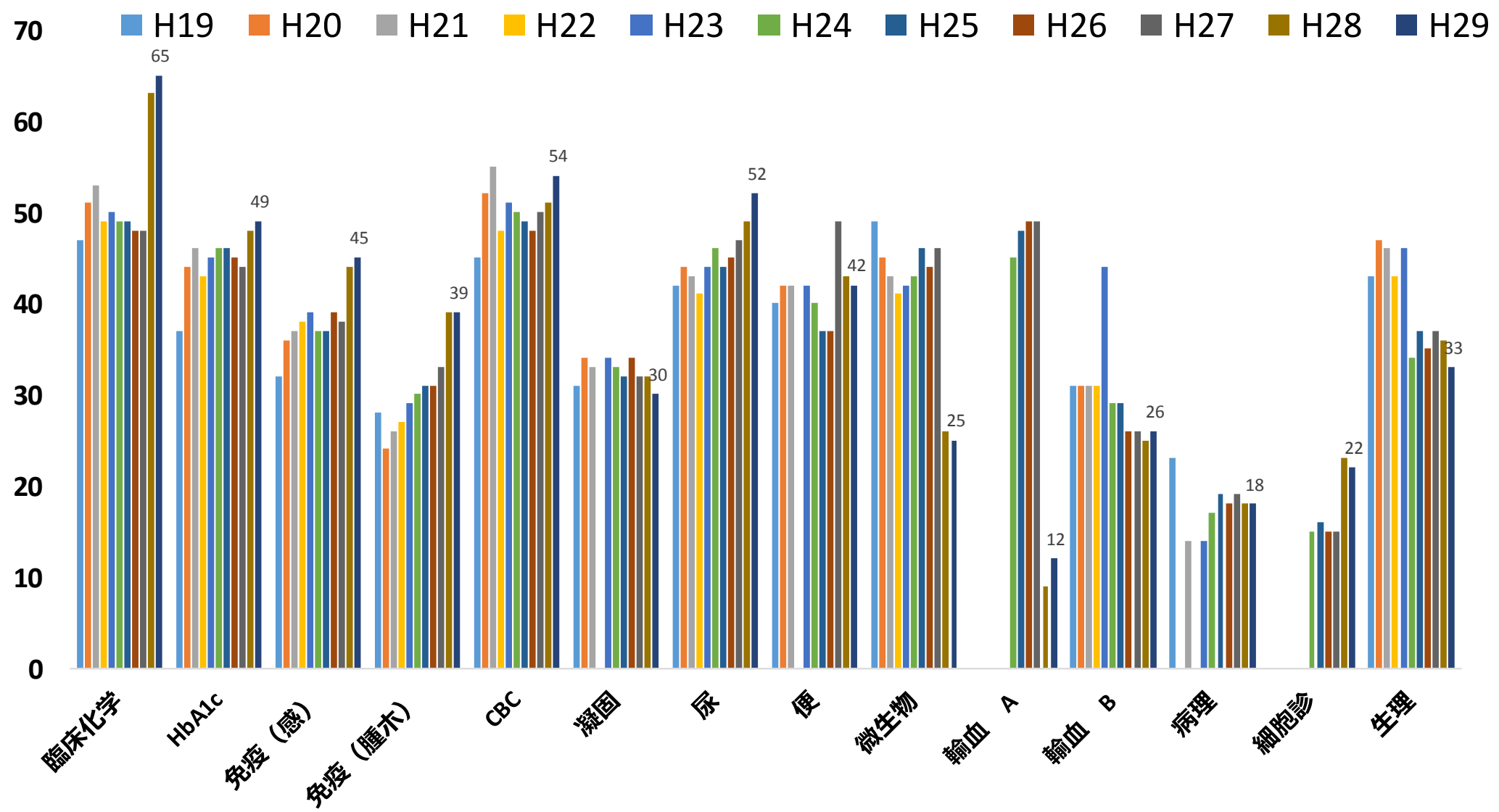
## ■ 地区別参加施設数の推移





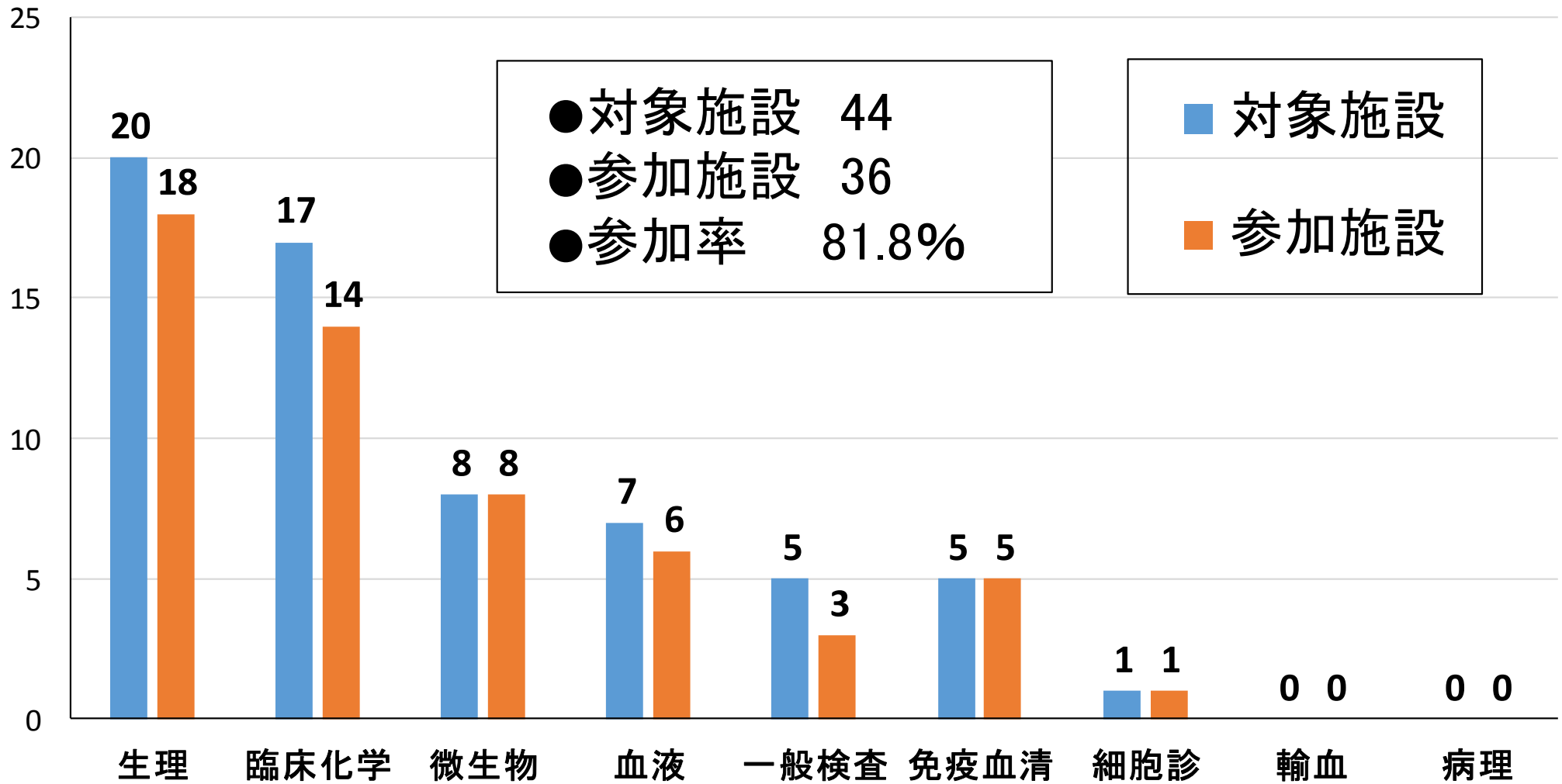
# 各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

## ■ 試料別参加項目の推移



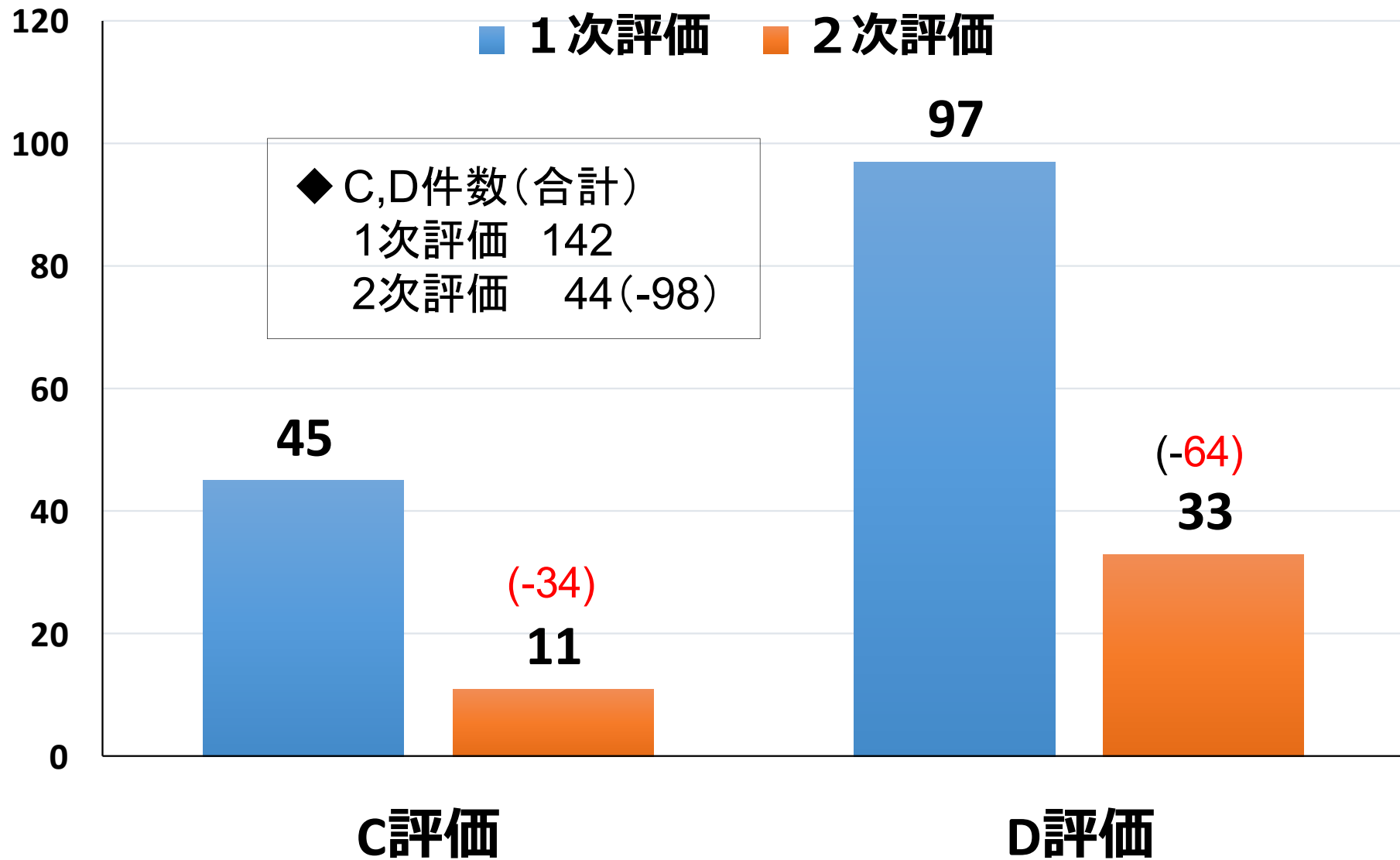
# 各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

## ■ 2次サーベイ後の参加状況



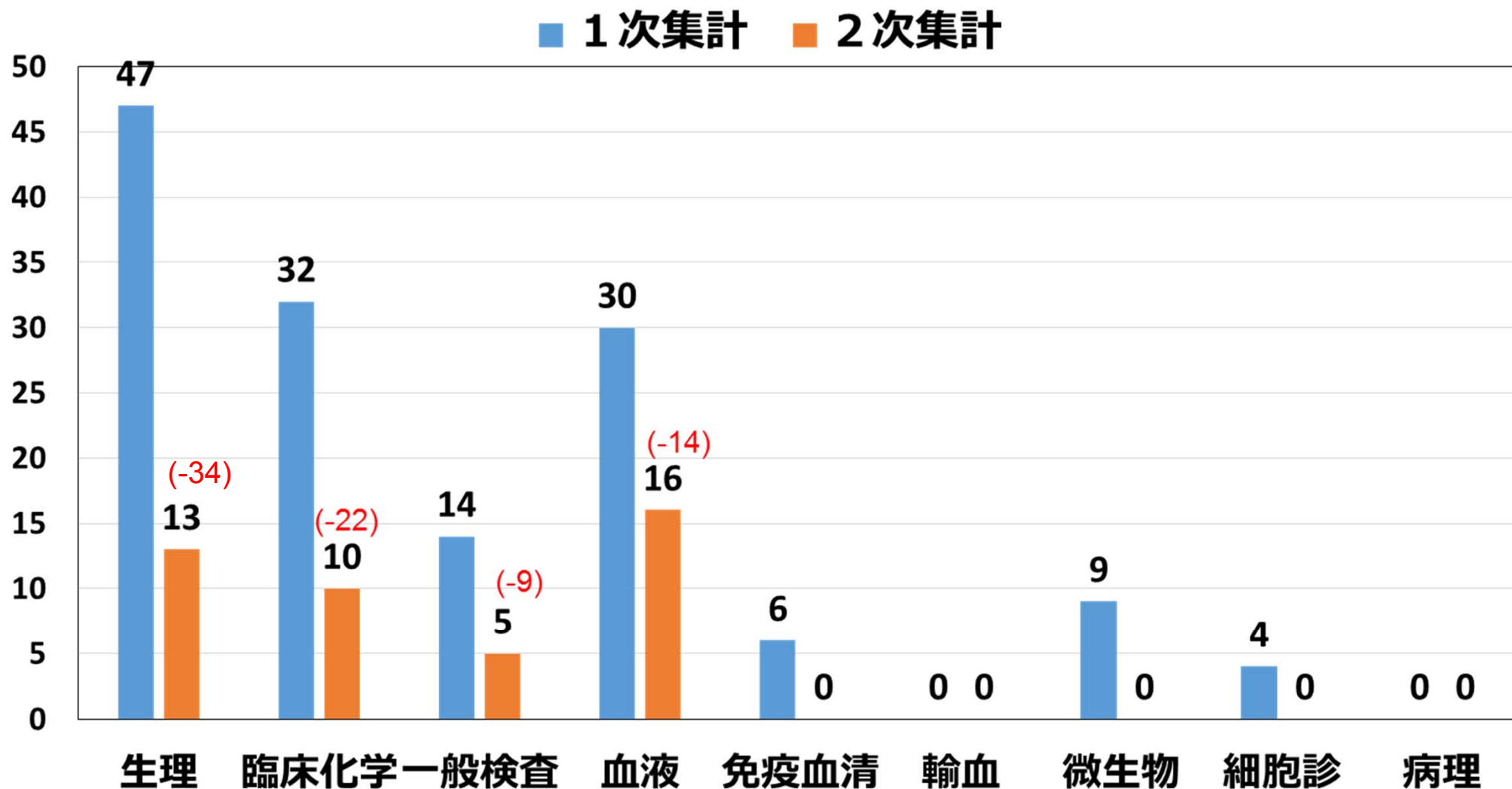
# 各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

## ■ 2次サーベイ後のC, D評価数の推移(全項目)



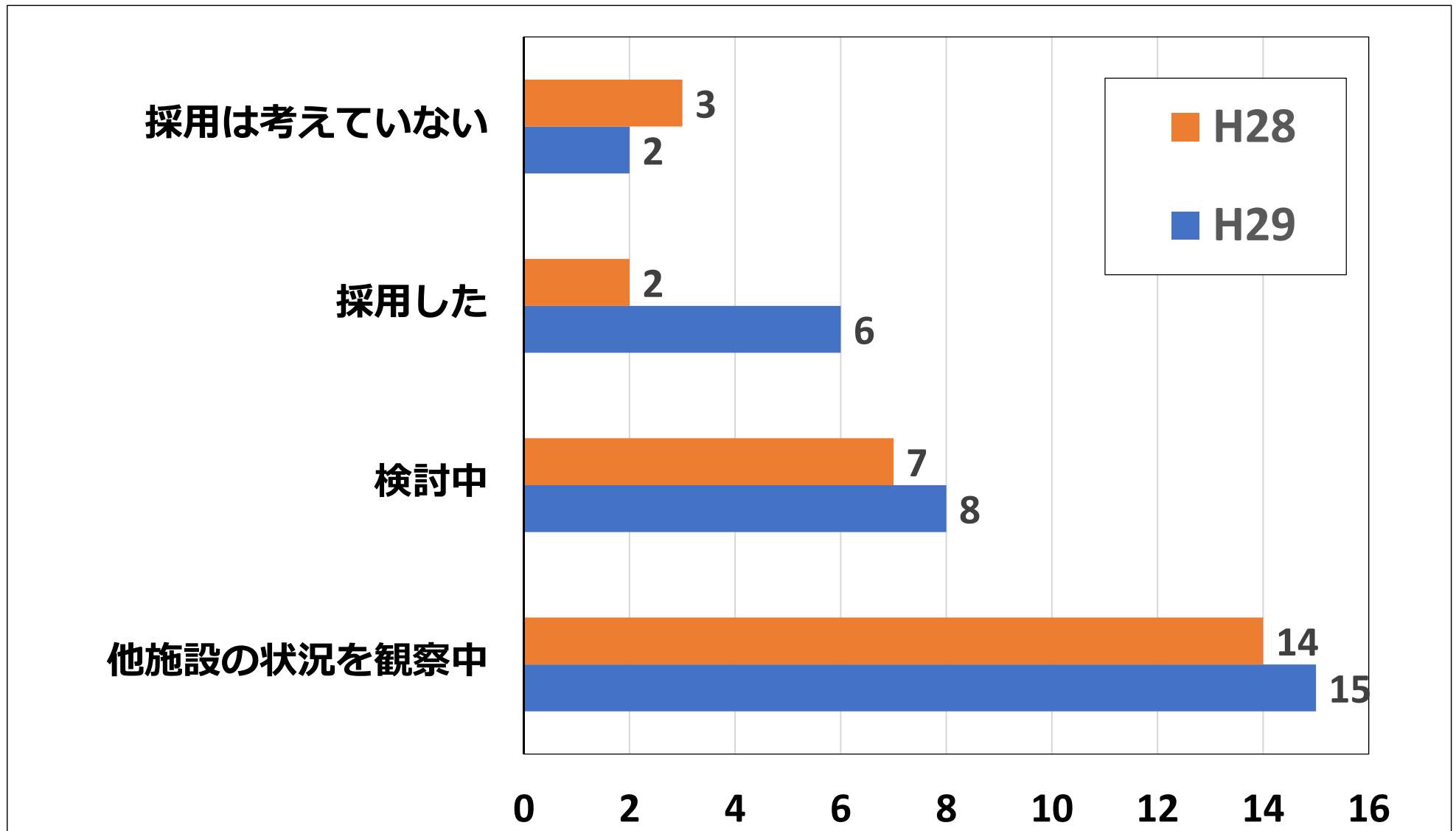
# 各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

## ■ 2次サーベイ後のC、D評価の推移(部門別)



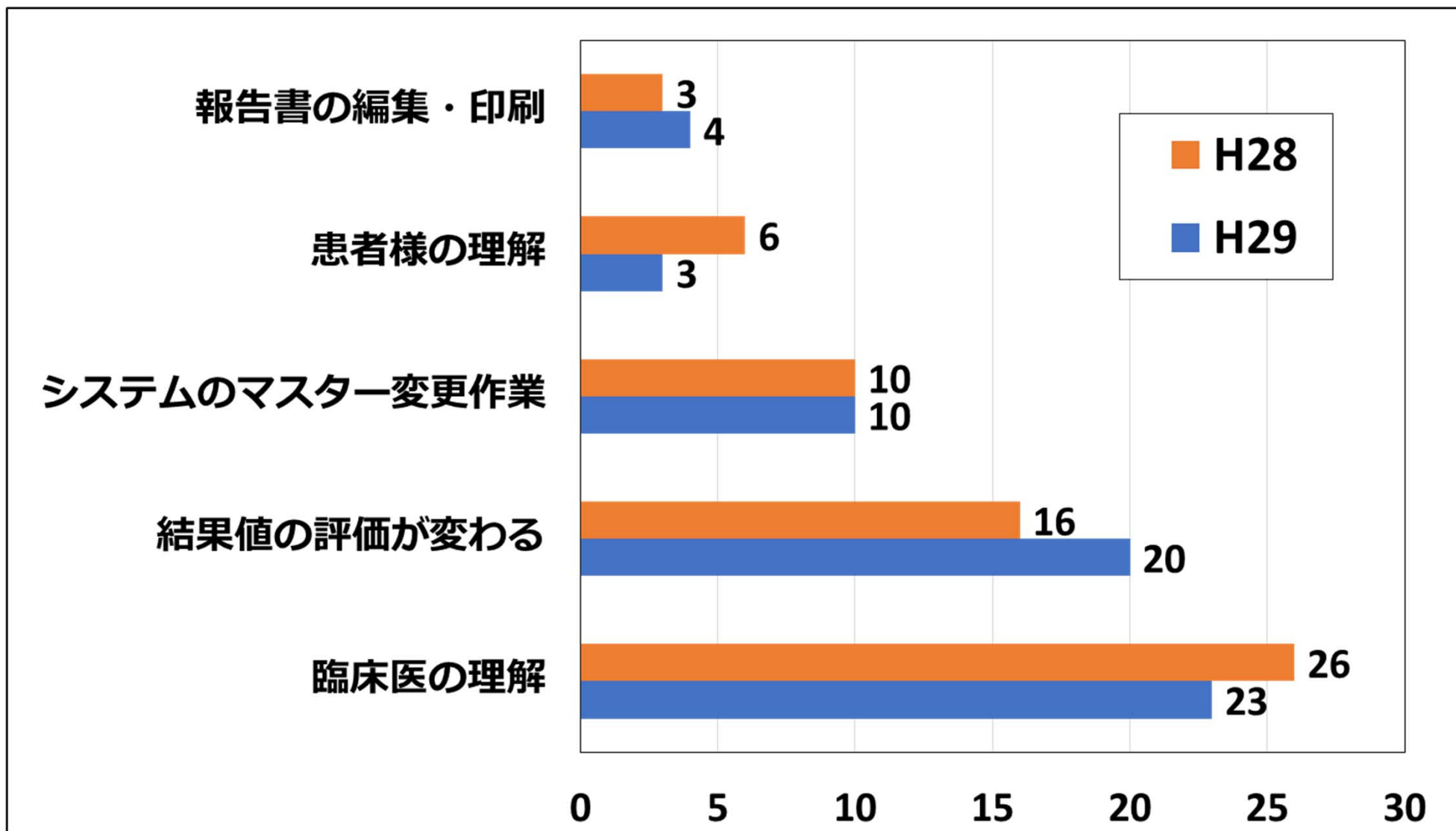
# 各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

## ■ 共用基準範囲のアンケート調査結果 採用について



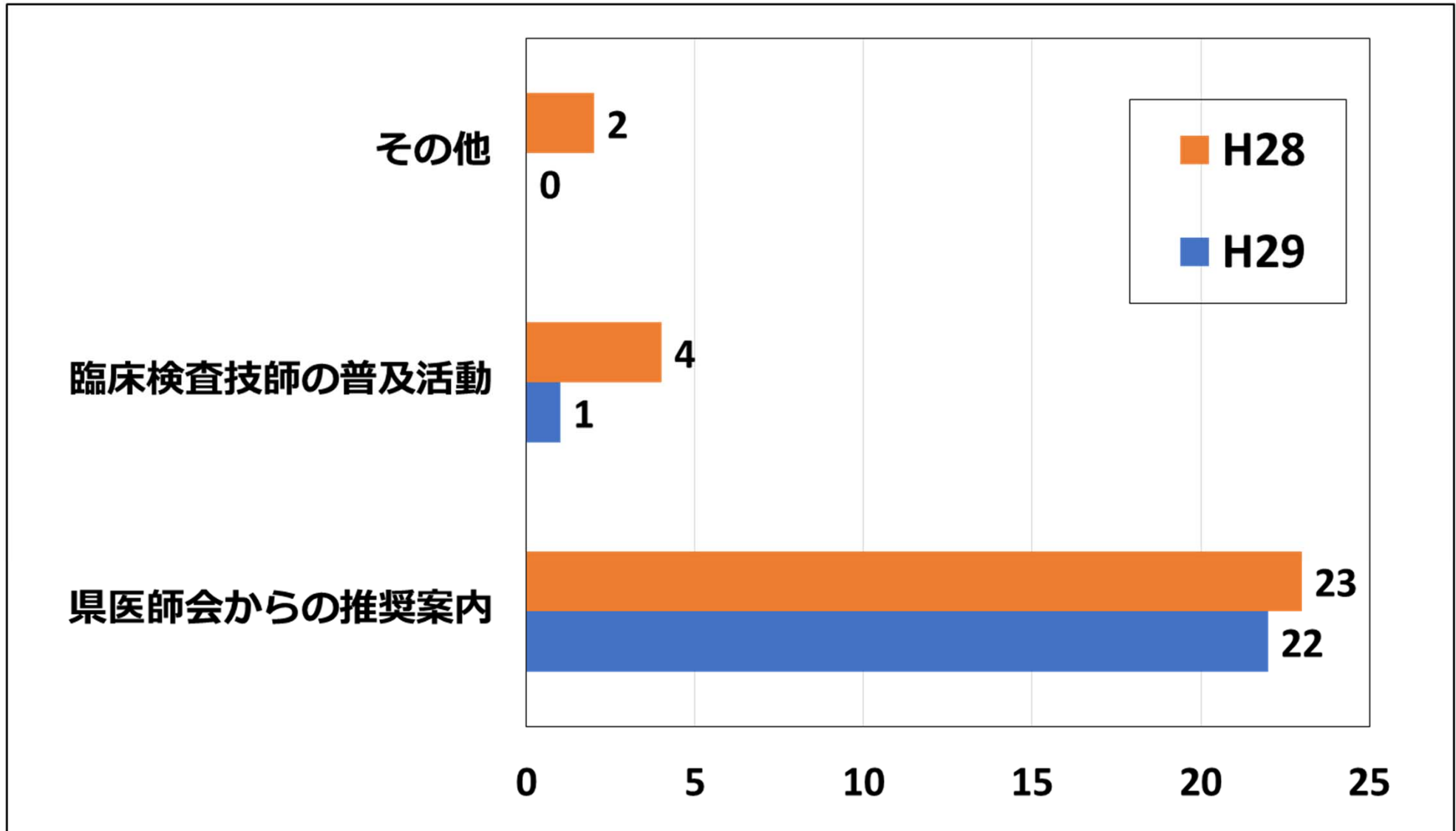
# 各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

## ■ 共用基準範囲の採用で障害となる事項は



# 各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

## ■ 共用基準範囲普及に重要な事は何を考えますか



### ■ まとめ

1. 参加施設数は、新規医療施設が3施設増加してメーカー合計79施設、過去最高の施設数となった。
2. 今年度から日臨技供給の試料を用いたが、試料の高騰のため参加費用を改訂した。
3. 2次サーベイの参加状況は対象施設63に対して55施設、参加率81.8%であった。また、2次サーベイ後のC,D件数は142件から44件に減少した。
4. 共用基準範囲の採用については、昨年2施設から6施設に増加、検討中も8施設に増加した。採用の障害は今年度も「臨床医の理解」が最も多かったが、昨年より減少した。